



学校案内

2023

北海道中札内高等養護学校

〒089-1345 河西郡中札内村東5条南1丁目8番地

電話 (0155) 68-3266 / 67-2077 (Fax 共用)

ホームページ <http://www.nakasatsunaikoutouyogo.hokkaido-c.ed.jp>

Eメール nakakoyo@hokkaido-c.ed.jp

公式 twitter アカウント：北海道中札内高等養護学校 ユーザー名：nakakouyou_1



1 本校の教育がめざすもの

学校教育目標「心豊かに生きる力を育てる」

- 心身の健康を維持・増進する力
- 人と関わる力
- 自分を整える力
- 主体的に生活する力
- 意欲的に働く力

生徒それぞれが自己実現や自立を目指し、豊かな人間性をはぐくみ、社会人として社会で生きていく力を学ぶことが「心豊かに生きる力」につながる。

将来の社会の創り手となることが期待される生徒たちにとって、学校生活で学ぶことは多々あります。それらには、知識及び技能に関わる各教科の内容や将来の職業生活に必要な望ましい勤労観、職業観を育成する内容、社会生活を主体的に営むための内容、さらには、豊かな情操や道徳心、健やかな身体など個々に応じた様々な身に付けたい内容などが考えられます。限られた3年間の学校教育の中で、どのような力を身に付けていくことが必要なのかを明確にして実践していくことが大切です。「社会への出口」という高等養護学校の特徴を踏まえ、生徒それぞれの自立を目指し、「心豊かに生きる力を育てる」教育課程を編成しています。

2 職業学科とは

本校は「専門教育を主とする学科」のうち、「職業教育を主とする学科」を設置しており、作業学習を中心にした教育を行っています。

作業学習では、単に作業能力を高めるのではなく、仕事に向かう態度、持続性、コミュニケーション能力の育成など、職業自立や社会自立に向けて必要となる様々な能力を育成してします。



令和5年度の本校の職業学科は、「農業科」「窯業科」「木工科」「工業科」「家庭総合科」の5学科となっています。

○ 職業学科の作業学習の内容

自分の在籍する学科の作業学習を週 10～12 時間行います。卒業後の働く生活における基礎的な能力の習得や働くという意欲・意義の向上を目指し、在籍する学科の作業学習を体験的に繰り返し行います。

農業科



- 畑作、園芸、花、椎茸栽培など地域の特性を生かした農作業を中心に乾燥野菜づくり、ドライフラワーなどの製品作りを通して、働くために必要な知識・技能や態度などを養い、職業自立や社会自立を目指します。

窯業科



- 粘土を使用し、各種皿、茶碗、コーヒーカップなどの製品作りに取り組みます。機械ろくろやよりづくり、板づくりなど、様々な方法でセラミック製品を製作し、職業自立や社会自立を目指します。

木工科



- やきべら、スツール、チェスト、テーブルなどの木工製品の製作を行っています。木材のぬくもりを感じながら、各種作業を通して、働くために必要な知識・技能や態度などを養い、職業自立や社会自立を目指します。

工業科



- 民地仕切石、平板などコンクリート製品を中心に、ペーパーウェイト、表札などの金属加工を通して、働くために必要な知識・技能や態度などを養い、職業自立や社会自立を目指します。



家庭総合科

- 縫製作業とビルクリーニング(住居の清掃)作業に取り組めます。縫製作業ではミシンを使用した製作を中心に行い校内外の販売活動や受注製作に取り組めます。それらの活動を通して職業自立や社会自立を目指します。

3 普通科とは

教科別の学習（国語、社会、数学、理科、職業、家庭、外国語、情報）を中心に学びます。また、幅広い職業体験を行い将来の働く生活を目指します。



普通科

- 教科「職業」の時間を教育課程の中心に設定し、自己選択をしながら幅広い職業体験などを行い、自らの進路を考え決定する力を育てます。

学科の人数（令和5年度）

○学科は、各学科とも男女が一緒に学ぶ形態になっています。（各学科8名定員）

学科 学年	普通科	農業科	窯業科	木工科	工業科	家庭総合科	合計
1 学年	8	7	3	8	2	7	3 5
2 学年	7	6	8	8	3	7	3 9
3 学年	7	8	4	7	8	7	4 1
合計	2 2	2 1	1 5	2 3	1 3	2 1	1 1 5

4 どんな勉強をしているのか

本校で行われている授業と時間数は、次の時間割のようになっています。学年によって、また学習集団によって違いがありますが、ここでは、1年生のものについて特徴的な学習を説明します。時間割は、基本的に50分の授業を2校時続きで行っています。

令和5年度 1年生時間割

	月		火		水		木		金	
	職 業	普 通	職 業	普 通	職 業	普 通	職 業	普 通	職 業	普 通
	登校									
	日常生活の指導（SHR）									
1	体力づくり		体力づくり		音楽／美術／ 保健体育		体力づくり		体力づくり	
2	国語/数学		作業	職業			国語/数学		作業	職業
3	作業	職業			生単	社会	生単	家庭／ 外国語・ 情報		
4						理科				
	給					食				
5	作業	職業	音楽／美術／ 保健体育		全校集会／生徒会		音楽／美術／ 保健体育		LHR	
6					日生の指導				掃除・日常生活の指導	
					14:15 下校				14:20 下校	
	掃 除・日常生活の指導（SHR）						掃除・日常生活の指導（SHR）			
	15:20 下校		15:20 下校				15:20 下校			

○体力づくり

生涯を通じて健康で安全な活力のある生活を送るために、週に4回、1校時に運動強度別のグループで体力づくりを実施しています。内容は、4.5kmの持久走から、ジョギング、ウォーキング、ヨガ、軽スポーツなど各グループの生徒の実態に応じて活動内容を構成しています。



○生活単元学習

公民や理科、情報を主とした「暮らしと社会」、保健体育や家庭を主とした「心と体」、地理や歴史、外国語を主とした「日本と社会」、進級や卒業、学校行事に向けた学びに関わる「行事単元」の四つから成り立ち、社会生活に必要な体験や学習を通して、実生活へ生かせるように取り組んでいます。自分の考え方や行動傾向、能力など理解を深めたり、他者の考え方や能力などを知る活動を通して自分との違いに気づき、良好な人間関係を構築するための手段や方法を考えることができるように取り組んでいます。

○現場実習

日頃の作業学習等の学習成果や自分自身の課題の確認、卒業後の職業生活を体験することなどをねらいとして、現場実習を学年ごとに実施しています。

また、2年生の3学期や3年生の1学期にも必要に応じて現場実習を実施しています。

■ 1年生

1年生では、基本的には寄宿舍から村内外の事業所へ通い就業体験をします。

現場実習では、仕事の体験だけではなく、職場でのマナーや人との関わり方など、学校内では学ぶことができないことを体験します。

実習期間は2週間です。



■ 2年生

2年生では、寄宿舍や自宅から事業所へ通って就業体験をします。

単独で実習先へ通う生徒が多くなるなど、より卒業後の生活を意識したものになります。

1年生の進路希望調査などを基に実習先の選定を行い、進路決定の材料の一つになります。

実習期間は3週間です。

■ 3年生

3年生では、一般の企業へ就労（一般就労）を希望する生徒と、福祉施設の利用（福祉的就労）を希望する生徒で実施方法が変わります。

一般就労希望者は5週間、福祉的就労希望者は2週間を基本の期間として、卒業後の雇用、利用の可否を相手先に判断してもらう実習となります。

卒業後の生活を想定し、自宅やグループホームなどから単独で通うこととなります。



5 寄宿舎生活について

本校には、寄宿舎があり、多くの生徒が寄宿舎で生活しながら学校に通って学習しています。

寄宿舎には男子棟、女子棟が用意され、98名（令和5年度）の生徒たちが集団生活を通して協力し合いながら寄宿舎日課（下表）に従って「規則正しい生活」を送り、「基本的生活習慣の習得」や卒業後の生活を支える力としての「より良い対人関係を作る」、「余暇時間の活用」等を学んでいます。

舎室は、基本的には4人部屋で、その他、食堂、浴場、談話室、娛樂室、洗面所、洗濯場、乾燥室などの施設があります。御家族と離れて寄宿舎で集団生活を送る生徒にとって、気持ちの安定をはかり生活意欲を高めるためにも、週末の帰省に御協力をいただいております。

	日	月	火	水	木	金・土	休日	
6:30								
7:00							起床洗面	7:00
7:05								
7:10								
8:00							食事準備	8:00
8:30							朝食	8:15
8:40							歯磨き	8:50
8:00							余暇時間	
							食事準備	12:00
							昼食	12:15
								12:50
13:30	※開舎			下校 14:15		下校 14:20		
	帰舎	下校 15:20	下校 15:20		下校 15:20	帰省	余暇時間	
	余暇時間	余暇時間 (入浴日 男子→月、水 女子→火、木)						
17:00	食事準備						食事準備	17:00
17:15	夕食						夕食	17:15
18:00	歯磨き						歯磨き	18:00
18:10								18:10
18:30	余暇時間						余暇時間	
20:30	就寝準備						就寝準備	20:30
21:00								
21:45	消灯						消灯	22:00

※新型コロナウイルス感染症対策のため、職員が配膳を行っています。また、朝の会、ミーティングは行っておりません。

6 卒業したら

本校卒業後の進路は、福祉施設への入所や通所をする福祉的就労、自宅やグループホーム等から企業に勤める一般就労、家業従事、能力開発校への進学などです。開校当初は、一般就労を選択する生徒が多く、その後、福祉的就労を選択する割合が増えていきました。ここ数年は、再び一般就労の希望が増えてきています。また福祉的就労の中でも、施設入所よりも施設通所の希望が多くなっていることが近年の特徴です。

進路指導専任の教員が中心となり進路開拓を行います。本人及び保護者の意思を最大限尊重することはもちろん、関係する諸機関（福祉施設、市町村、職業安定所等）との連携が不可欠です。卒業後の進路は、制度のめまぐるしい改変や不況など、社会状況に大きく左右されるため、常に最新の情報を提供できるように心がけています。

また、卒業後の生活の安定を第一に考え、卒業後3年間を目途に巡回や招集による卒業後の支援を行っています。

	34 回生	35 回生	36 回生	37 回生	38 回生
一般就労	14	10	8	6	16
就労移行支援	6	8	4	10	10
就労継続支援 A	5	3	1	4	2
就労継続支援 B	9	4	5	10	8
自立訓練	3	2	1	0	2
地域活動支援	1	0	0	0	0
生活介護	0	2	0	0	0
進学	0	0	2	1	1
その他	4	2	3	5	0
計	42	31	24	36	39

38 回生 一般就労先 (16 名)

- 【農業・林業：2名】・有限会社 高昭牧場 ・ナガイ産業合同会社
- 【建築業：1名】・株式会社 まごころ塗装
- 【製造業：2名】・北海道製鎖株式会社 ・株式会社 江戸屋
- 【小売業：7名】・株式会社ダイイチ オーケー店 ・株式会社福原 フクハラ足寄店
- ・DCM株式会社DCM帯広南店 ・株式会社ジョイフルエーケー帯広店
- ・イオン北海道株式会社 マックスバリュ池田店
- ・イオン北海道株式会社 イオン帯広店
- ・株式会社デンコードー ケーズデンキ帯広音更店
- 【介護・福祉：1名】・社会福祉法人刀圭会 ディサービスセンターそうび苑
- 【生活関連サービス業：1名】上士幌農業協同組合 ホクレン上士幌セルフSS
- 【観光業：1名】株式会社 十勝川温泉第一ホテル
- 【飲食業：1名】株式会社オカモト びっくりドンキー柏林台店

7 募集案内予定（令和6年度）

○募集学科・人員（48名）

■ 職業学科5学科（定数8名）計40名

■ 普通科1学科（定員8名）計8名

○出願手続

入学願書、個人調査書、他所定の書類を出身学校長を経由して提出してください。締め切りは1月中旬。

※障害の程度・疾病の状況によっては診断書、判定書等の提出をお願いする場合があります。

○入学選考

「学習状況検査」、「面接」の結果と個人調査等を参考に、総合的に判断し合否を決定します。

- ・ 検査日：令和6年1月26日（金）
- ・ 合格発表：令和6年2月14日（水）

○入学準備説明会

令和6年2月27日（火）に入学準備説明会を予定しています。

8 学校諸経費及び就学奨励費

○学 費

授業料は無料ですが、教材費、作業服購入費、寄宿舍生活費（日用品費、小遣い等）や食費については経費がかかります。必要金額は個人によって異なりますが、おおよそ下表のようになります。

なお、保護者の所得に応じ、教材費等の全額または半額が補助される「就学奨励費制度」があります。

○就学奨励費制度

特別支援学校に就学する場合、必要な経費の一部を国や道が負担する制度で、保護者の収入、家族数、居住地域など経済状況に応じて3段階に区分されます。（第1区分…全額支給、第2区分…半額支給、第3区分…教科書購入費と交通費以外支給なし）

なお、教科書購入費、帰省費など、区分にかかわらず支給される経費があります。

支給される経費の例（就学奨励費）

- ・ 学校給食費 ・ 寄宿舍食費 ・ 帰省費 ・ 寝具購入費 ・ 日用品購入費
- ・ 学用品 ・ 通学用品購入費 ・ 新入学生徒学用品購入費 ・ 教科書購入費 ・ 修学旅行経費
- ・ 職場実習経費 ・ 職場実習宿泊費 ・ 宿泊生活訓練費 等

※下線の経費について、支給を受けるためには、領収書を添付した書類の提出が必要となります。

○入学時に必要な経費（１年生）

費 目	男 子	女 子
制 服	31,000円程度	34,000円程度
作 業 服	11,200円	11,200円
体 操 着	10,010円	10,010円
その他の諸経費	31,000円程度 共済掛金、校章代、写真代、学習費（前期分）、PTA 会費（前期分） 体文会費（年間分）、在卒会費（前期分）、寄宿舍日用品費、小遣いなど	
合 計	83,500円～86,500円程度	

○１年間で必要な経費

費 目	金 額	内 訳
学校諸経費 寄宿舍日用品	年間 125,500 円程度	必要に応じて徴収します。 （１年生は、入学時に30,000円を納入） ・学校諸納金、PTA 会費、生徒会費、学習費など ・寄宿舍生活費
食 費	就学奨励費の区分により徴収額が異なります。	

9 本校の支援団体

○父母と先生の会(P T A)

本校の保護者と職員で構成されています。会長を始め20名を超える役員（本校職員を含む）が中心となり会を運営しています。「PTA懇親会」（総務）「PTAだより」の発行（広報）、「PTA家庭教育学級」（研修）等の行事が予定されていますが、その他、各種研究大会、校外事業等への参加等も活発に行われております。



○援 護 会

昭和58年の本校開校時に発足しました。本校の現場実習、卒業後の進路等への支援・協力を目的とし、学校と会員（事業所及び個人）との交流を図る組織です。

村内を中心として、現在30以上の事業所の方々に支援をいただいております。

主な行事としては、年3回ほど行われる交流会（事業所の職員と本校職員など）、9～10月に行われる現場実習への支援、実習終了後の現場実習交流会（事業所の職員と生徒）などがあります。

本校の現場実習に、援護会の方々の支援なしでは行うことが難しいほど、大きな存在となっています。

○学校運営協議会

令和３年度に設置された会議で、PTA、援護会、中札内村役場、教育委員会、町内会等の関係者から協議会委員に１２名を委嘱し、その任に当たっていただいております。年間３回程度の運営協議会が開催されています。

設置目的は、次のとおりです。

「中札内高等養護学校と地域との様々な交流」を推し進め、中札内高等養護学校が学校教育目標を達成することで、同時に地域貢献という社会的使命を果たし、生徒の生涯学習の充実と特別支援教育の理解啓発という教育課題に応えること、地域の活性化や生活の充実に寄与出来る地域と学校双方が積極的に連携と協働を推進していくことを目的としています。

10 教育相談

本校では、児童生徒の発達相談や高等養護学校への入学等、様々な相談を受けています。相談内容の秘密は厳守いたします。なお、本校へ入学を希望される方は、１１月までに必ず教育相談を受けられるようお願いいたします。

また、学校見学につきましても、随時受け入れておりますので、お気軽にいつでも、お問い合わせください。

電話（０１５５）６８-３２６６ ／ ６７-２０７７（Fax 共用）

メールアドレス nakakoyo@hokkaido-c.ed.jp（教育相談担当まで）

11 学校案内図



◎車でお越しの場合

帯広駅 ⇒ (国道 236 号) ⇒ 中札内高等養護学校

帯広駅 ⇒ 川西 I.C. (帯広広尾道) ⇒ 中札内 I.C. ⇒ (一般道) ⇒ 中札内高等養護学校

※帯広駅から中札内高等養護学校までの所要時間は約 35 分です。(30 km)

◎バスでお越しの場合

帯広駅バスターミナルより【60】中札内線に乗車、所要時間は約 60 分です。